４．有価証券関係

満期保有目的の債券

（単位：円）

区　　分	種　類	貸借対照表計上額	時　　価	差　　額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	地　方　債	249,790,901	249,880,000	89,099
	小　計	249,790,901	249,880,000	89,099
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	地　方　債	6,881,136,904	6,402,335,900	△ 478,801,004
	福岡北九州高速道路債ほか	4,450,522,101	4,159,932,000	△ 290,590,101
	譲渡性預金	3,000,000,000	3,000,000,000	0
	小　計	14,331,659,005	13,562,267,900	△ 769,391,105
合　　計		14,581,449,906	13,812,147,900	△ 769,302,006

５．退職給付関係

⑴　採用している退職給付制度の概要

当機構は、役員及び職員の退職給付に充てるため、積立型、非積立型の確定給付制度及び共済年金に係る整理資源を採用しています。

確定給付年金制度（積立型制度）は、水資源機構企業年金基金にて運営し、給与と勤務期間に基づいた一時金又は年金を支給しています。

退職一時金制度（非積立型制度）は、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しています。

⑵　退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	25,688,676,322
勤務費用	773,593,369
利息費用	344,398,919
数理計算上の差異の当期発生額	△ 1,971,424,045
退職給付の支払額	△ 1,997,880,363
役員退職手当引当金繰入額	9,290,000
整理資源負担金取崩額	△ 7,114,340
整理資源負担金繰入額	△ 1,925,711
期末における退職給付債務	22,837,614,151

⑶　年金資産の期首残高と期末残高の調整表

期首における年金資産	12,087,609,985
期待運用収益	302,190,249
数理計算上の差異の当期発生額	△ 251,131,043
事業主からの拠出額	705,761,425
退職給付の支払額	△ 564,995,263
制度加入者からの拠出額	65,527,920
期末における年金資産	12,344,963,273

⑷　退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	11,029,952,539
年金資産	△ 12,344,963,273
積立型制度の未積立退職給付債務	△ 1,315,010,734
非積立型制度の未積立退職給付債務	11,807,661,612
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	10,492,650,878
退職給付引当金	11,845,310,218
前払年金費用	△ 1,352,659,340
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	10,492,650,878

⑸　退職給付に関連する損益

勤務費用	773,593,369
利息費用	344,398,919
期待運用収益	△ 302,190,249
数理計算上の差異の当期の費用処理額	△ 1,720,293,002
制度加入者からの拠出額	△ 65,527,920
役員退職手当引当金繰入額	9,290,000
整理資源負担金繰入額	△ 1,925,711
合計	△ 962,654,594

⑹　年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

債券	42％
株式	41％
現金及び預金	3％
その他	14％
合計	100％

⑺　長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

⑻　数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表しております。）

割引率　確定給付企業年金　2.2％　一時金　1.9％

長期期待運用収益率　2.5％